



1月・2月の主な研修

【動画】：開始日（10:00）終了日（17:00）
以外は、24時間視聴可

- 高齢者虐待対応研修（第3回）「経済的虐待対応スキルアップ」
～事実の把握と適切な支援につなげるために～【集合・動画研修】
①集合研修 R8.1.9(金)14:00～16:00
②動画研修 R8.1.28(水)～2.27(金) 講師:川崎 裕彰 氏
- 医療・福祉連携研修「認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために」【ライブ・動画研修】
①ライブ研修 R8.1.16(金)18:30～20:30
②動画研修 R8.2.6(金)～3.6(金) 講師:山口 潔 氏
- ケアマネジャー研修（共通）「ケアマネジャーに必要なコンプライアンスⅢ」【ライブ研修】
R8.1.20(火) 14:00～16:30 講師:後藤 佳苗 氏
- 食支援（栄養・調理）研修「腎臓病の食事のとり方(2回)」【動画研修】
R8.1.28(水)～2.27(金) 講師:村上 奈央子 氏
- 医療・福祉連携研修「知っておきたい！摂食嚥下治療とアプローチ～食べたい思いを叶えるために～」【集合研修】
R8.2.13(金)18:00～20:00 講師:奥主 嘉彦 氏

- 福祉職のキャリアアップ講座【集合研修】
(1)「相談援助について学ぶ(基礎編)」
R8.1.23(金)13:30～16:00
(2)「相談援助について学ぶ(応用編1)」
R8.2.12(木)13:30～16:00
(3)「相談援助について学ぶ(応用編2)」
R8.2.24(火)13:30～16:00 講師:須藤 昌寛 氏
- 高齢・障害支援力向上sofuku講座「視覚障害の理解～『見えない・見えにくい』を丁寧に紐解く:信頼を築く『状況説明のポイント』と『支援の基本手順』～」【集合研修】
R8.2.24(火)14:00～16:00 講師:木村 仁美 氏
- 医療・福祉連携研修「透析療法における在宅支援と多職種連携～腎臓病・透析患者を地域でどう支えるか～」【ライブ・動画研修】
①ライブ研修 R8.2.28(土)14:00～16:00
②動画研修 R8.3.10(火)～4.10(金) 講師:若林 隼人 氏
- 医療・福祉連携研修「地域を支える薬局・薬剤師のしごと」
①ライブ研修 R8.2.25(水)19:00～20:40【ライブ・動画研修】
②動画研修 R8.3.17(火)～4.17(金) 講師:水越 淳友 氏 原田 由美子 氏 小林 哲男 氏
- ケアマネジャー研修(リーダー)「今後のケアマネジメントを
考えよう ～介護保険制度の動向を踏まえて～」【ライブ研修】
R8.2.25(水)13:30～16:30 講師:石山 麗子 氏



うめとぴあ上映会

<入場無料>

●「ケアニン ～ここに咲く花～」

新人介護士の奮闘を描いた「ケアニン～あなたでよかった～」の続編。小規模施設から大規模な特別養護老人ホームに転職した主人公が、効率化やリスク管理を優先する現場に戸惑いながらも、入所者に真摯に向き合い、奔走する感動作です。

- 日 時：2月6日（金）、7日（土）の各日とも ①午前10時 ②午後1時
③午後3時10分（上映時間 101分）
- 会 場：世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階 うめとぴあホール
世田谷区松原6-37-10
- 定 員：各回80名 ※要事前申込み（先着順）
- 申込み：令和7年12月25日（木）から、電話、FAX、
総合プラザ1階総合案内、申込みフォームで受付
- 問合せ：総合プラザ 運営管理室
電話 03-6379-4301 FAX 03-6379-4305



申込みフォーム



最新の研修
案内が手軽に
確認できます！
ぜひご登録
ください！



発行：世田谷区福祉人材育成・研修センター
〒156-0043世田谷区松原6-37-10
世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階
電話：03-6379-4280
FAX：03-6379-4281
HP：https://www.setagaya-jinzai.jp/



福祉のしごと相談

研修センターでは「福祉のしごと相談」を
お受けしています。相談無料、匿名OKです。
ひとりりで悩まないで、気軽にご相談ください。

福祉のしごと はじめて相談

相談日：月～金 9:00～16:00
方 法：来所・電話・メールで

福祉のしごと 悩み相談

- 面接相談 毎週木曜日 ①18:30～
②19:30～
- メール相談 soudan@setagaya.or.jp

世田谷区福祉人材育成・研修センター

じんざいくん便り

だよ

令和7年12月 第34号



「福祉・介護のしごと 魅力発信動画」

世田谷区福祉人材育成・研修センター ホームページにて一般公開！

詳細はこちらから
ご確認下さい！



研修センターでは、福祉・介護のしごとの魅力を多くの方々に伝えるとともに、福祉・介護のしごとの興味を持っていただける方を増やせるよう、「福祉・介護のしごと 魅力発信動画」をホームページで一般公開しています。福祉・介護のしごとの重要性・やりがいなど、「しごとの魅力」をぜひご視聴ください！

コンテンツ1 ケアマネジャーのしごと 魅力発信動画

ベテランケアマネジャーが語る ～その人らしさを支えるケアマネジャーの仕事の魅力～

現役の3名のケアマネジャーから、ケアマネジャーになっ
たきっかけ、やりがい、心に残っている出来事、資格取得
を目指す方に向けて、熱い想いを語っていただきました。



利用者が住み慣れた地域で暮らし
続けられるよう、人生の最終生活
の支援ができることです！

最初は関わりを拒んでいた方が、
訪問を続けることで、心を開いて
受け入れてくれたことです！

コンテンツ3 介護のしごと 魅力発信動画

福祉のしごと入門講座 座談会 ～KAIGO PRiDEアンバサダーが語る介護の仕事の魅力～

3名の介護職から、介護の仕事を選んだきっかけ、やりが
い、心に残っている出来事、介護の仕事を考えている人に
向けて、熱いメッセージを送っていただきました。



KAIGO PRiDEアンバサダーとは？

自らの言葉で、**介護の魅力**や**現場のリアル**を発信する**介護職**たち。
全国で200名を超え、世田谷区の3
名も活躍中！**現場の誇り**と**プロ意識**
で、介護のイメージを変えていきます。

コンテンツ2 福祉のしごと イメージアップ動画

福祉のお仕事 魅力発信PR動画 ～東京都福祉局 福祉の仕事イメージアップキャンペーン～

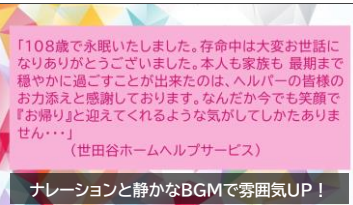
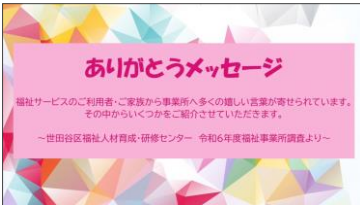
東京都福祉局のホームページにも掲示されている動画です。
様々な世代の方が、福祉の仕事に取り組み、自分らしく輝
く様子を伝える5部構成の動画になっています。



コンテンツ4 福祉・介護のしごとの素晴らしさ PR動画

ありがとうメッセージ ～福祉人材育成・研修センター 令和6年度福祉事業所調査より～

令和6年度の世田谷区福祉事業所調査から収集した、区内
の福祉事業所に寄せられた利用者・ご家族からのありがと
うメッセージを1本の動画に編集しました。



世田谷区居宅介護支援事業所等調査(中間報告)

【調査期間】
令和7年8月26日～
9月15日

ケアマネジャーの確保・育成に関する課題などについて、世田谷区、世田谷ケアマネ
ジャー連絡会、世田谷区福祉人材育成・研修センターの3者で検討して参りました。現状
を把握し、今後の施策検討の参考とするため、世田谷区の介護保険事業・地域包括ケアシ
ステムの推進にご協力いただいております居宅介護支援事業所などに、本調査を実施しまし
た。調査にご協力いただきありがとうございます。中間報告を踏まえて、検討を続け、
年度内に研修センターホームページで公表します。

- ★調査対象：世田谷区内の居宅介護支援事業所など
- ★全回収率：222/420事業所 52.9%
- 居宅介護支援事業所に限った回収率：143/209事業所 68.4%

居宅介護支援事業所において
ケアマネジメントの課題(上位3つ)

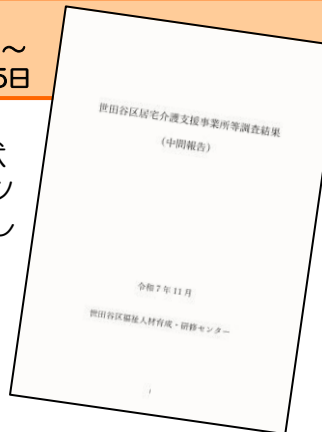
- 第1位 業務量が多い 64.3%
- 第2位 家族の理解不足 57.3%
- 第3位 シャドーワーク 55.9%

居宅介護支援事業所において
業務の中で必要なサポート(上位3つ)

- 第1位 困難緊急時窓口 72.0%
- 第2位 シャドーワーク支援 62.2%
- 第3位 地域資源情報提供 40.6%

居宅介護支援事業所において
研修参加を促すために必要と感じている事(上位3つ)

- 第1位 内容を実務と直結するものにする 63.6%
- 第2位 日程、時間など柔軟な設定 46.9%
- 第3位 研修案内の工夫、情報発信の充実 24.5%



研修ピックアップ

メンタルヘルス研修

支援者のための「わたしも大事 あなたも大事」からはじまるグリーフサポート

【集合研修】
《開催日時》
令和7年10月14日（火）
14時～17時

グリーフは、死別体験だけではなく、**人生の様々な喪失体験によって誰でも起こりうる心身の反応**です。

本研修では、自分自身のグリーフに気づくセルフケアの必要性和、グリーフサポートにおけるコミュニケーションスキルを体験するグループワークを行い、**安心・安全なサポーターであるための方法を学びました。**

講師：

グリーフサポート
せたがやのみなさん



世田谷保健所健康推進課 職員

1. 世田谷区のグリーフサポート事業について

世田谷区グリーフサポート事業の経過

平成26年12月～
世田谷区グリーフケアモデル事業
＜目的＞
グリーフを抱える区民に対する支援の輪を広げること



グリーフ「ケア」からグリーフ「サポート」へ

グリーフ「ケア」は、医療や介護の支援者側が、手を差し伸べるというイメージから、ケアを「**する側**」と「**される側**」に区分される印象



平成28年4月～
世田谷区グリーフサポート事業

グリーフを抱える区民を、
区の支援につなぐ

支援する側と支援を受ける側が一方ではなく、支援者も、区民も含めて、**相互に支え合う事業**を目指す
「**グリーフサポート**」事業へ

2. 支援者のための「わたしも大事 あなたも大事」からはじまるグリーフサポート

安心・安全のルール

「すいはいは
ないよ!!」
こで聞いた
ん話は外では
しません。

アドバイス
質問はしません。

ひとりひとりの
きもちや考えを
さまざまな
尊重します。

話す時間は
みんながシェア
します。

安心・安全
ルール

「わたしも大事、あなたも大事」
という考えを大切にしています。

グリーフの衝撃や
影響は一人ひとり
異なります。

- ◎体の不調
- ◎何も変わらないように
見えたり、今まででき
ていたことができな
くなる
- ◎大きなエネルギー、
じっとしていられない
など

受講者
アンケートより

否定されることも、
深入りされることも
なく話すことができ
る安心・安全なコ
ミュニケーションス
キルを学べた。

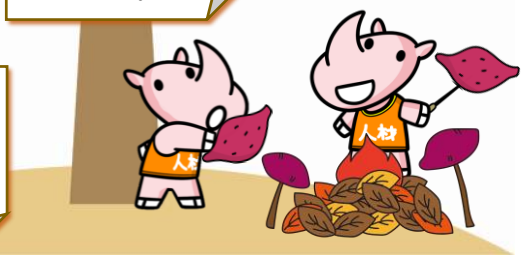
「わたしも大事」のためのセルフケア
《しんどいサイン?》

- ♥**こころ**
イライラする、集中できない、
気持ちが落ち込む、孤立している感じが
する
- ♥**からだ**
いつも疲れている、だるくて起きられない、
食欲がない、眠れない
- ♥**行動**
自分を責める、全部自分でしようとする、
飲みすぎる、食べすぎる、買いすぎる、
いつもケースのことを考えている、
すぐ怒鳴る など

みんな悲しみと
向き合って生き
ているのだと知
ることができて
よかった。

グリーフはひとと
それぞれ。相手の話
を聞くことの大切
さに気づきました。

「わたしも大事」
ということがまず
先であるというこ
とを学んだ。



障害福祉の理解研修

「精神疾患は“見えない障害” その理解と支え」 ～精神疾患を持つ人が安心して暮らせる社会を目指して～

【集合研修】
《開催日時》
令和7年11月28日（金）
14時～17時

講師：白石 弘巳 氏

東洋大学 名誉教授

埼玉県済生会なでしこメンタルクリニック院長



精神疾患の医学的な知識を学ぶとともに、当事者や家族と接する際の基本を知り、地域社会で安心して暮していくための支援の大切さを学びました。

精神疾患とは

★精神疾患は精神機能の障害である。精神機能の障害は精神症状として現れる。

- ・意識の障害…せん妄
- ・思考の障害…妄想、強迫観念
- ・知覚の障害…幻覚
- ・感情の障害…鬱、躁
- ・記憶の障害…生活史健忘
- ・意欲、欲動の障害…無為自閉、飲酒欲求
- ・身体への現れ…麻痺、視覚障害



精神疾患と患者数の推移



- ・気分障害が**40万人**(H8)から**120万人**(H23)へ
神経症性障害が**40万人**(H8)から**80万人**(H23)へと
激増している。
- ・統合失調症は**約70万人**と横ばい、変化がほぼなし。
- ・認知症の一部が精神科を受診している。

★**精神疾患を理解するためには・・・**

精神疾患の症状と障害の程度をすることに加え、**心理・行動的な反応の特徴を把握することが必要。**

精神疾患に由来する障害（生活のしづらさ）とは

- 障害とは「**精神機能が自分の思い通りに働かなくなる**こと」
- ・作業能力は病前よりやや低下
- ・簡単なものはでき、難しいものは病前のようにはできなくなる
- ・不安定な認知と行動
- ・刺激に対する反応は過少か過剰になりやすい
- ・集中力が続かず、疲労の回復は遅延。無理すると再発
- ・刺激（変化）を避けようとする対処行動
- ・やればできるかも知れないが現実には行わ（え）ない
- ※発症の時点で生活に支障がでるが、障害認定（症状固定）は
精神障害者保健福祉手帳は初診半年、障害年金は1年半以降。



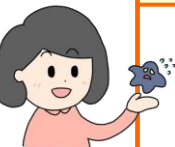
できることから始める“自立”が目標

- ・必ずしも自分で稼いで、人に頼らない生活をする
ことだけが自立ではない。
- ・大切なことは、できることは自ラ行い、
できないことは人に頼むことができる力を持つこと。
- ・人に頼むことは、「弱さの表れ」ではなく、
むしろ「強さの表れ」

→**どんなに重い状態でも自立は得られる。**
まず悩みの中で生きていけることが出発点。

回復支援中に忘れないでほしいこと

- ★**利用者は今以上にすぐには良くならない。**
 - ・本人の行動、言動、態度は病気のため。
- ★**悪くしなければ必ず良くなる。**
 - ・正しい療養を始めること。それを継続すること。



最後に。精神疾患の人と接するポイント!!

- 傾聴は、寄り添う手段。
- 実際には、寄り添うことが難しい場合もある。
(本人を理解し、肯定し、本人の希望を叶える)
- いい関係をつくり、維持するのが基本。
- 変化は、現状維持を出発点にする。
- 相手を変えようと力を入れない。 など

～受講者アンケートから～

- ・相談支援、人材育成の場面でも、人と接するポイントは活用できると感じた。
- ・精神疾患の利用者が多くなってきているのは実感しています。症状が良くなり「治った」と減薬してしまう場面がありました。再発防止のためにも継続することの大切さを知りました。
- ・傾聴の姿勢は寄り添う手段として捉える。そして何より、できることに目を向けてあげる大切さ。ご本人だけでなく、家族も含めて支援を考えていくことに気づかされました。